

2 学校への適応感を高める年間指導計画の作成

生徒指導を展開していくことは、一人一人の児童生徒の自己指導能力をはぐくんでいくことでもある。そして、学校が一人一人の児童生徒に対して、組織的な生徒指導を展開していくためには、生徒指導の方針・規準を明確にし、具体的にしておくことが必要である。そこで、学校楽シートを活用して自己指導能力の育成を目指す年間指導計画を作成する段階から全教職員が作業に参画するようにして、意識を高めることでより一層共通理解・共通実践が図られる。

次の表は、「学校楽シート」で示した「学校への適応感を高める年間指導計画」である。各時期に予想される児童生徒の状態と、その時期に特に必要と思われる観点のねらいが記してある。各部門が年間指導計画を作成する際、「学校への適応感を高める年間指導計画」のねらいを押さえて作成することで、自己指導能力の育成に向けた生徒指導が組織的・計画的に展開されることになる。

学校への適応感を高める年間指導計画(各学年共通)

育てたい内容 予想される 児童生徒の状態	友達との関係	教師との関係	学習意欲	自己肯定感	心身の状態	学級集団に おける適応感	備 考
○ 環境の変化から不安に思ったり、孤立したりする。 ○ 知り合い同士で相互依存しやすい。	新しい人間関係のきっかけをつくることができるようにする。	気軽に話すことができるようにする。	夢や希望、目標をもつことができるようにする。	自分のよさについて考えることができるようにする。	自分の心身の状態に目を向け不安や緊張を軽減できるようにする。	自分の学級に親しみをもちつことができるようにする。	★校内研修の実施(具体的な内容例) ・ 人間関係づくりの演習 ・ 教育相談の進め方 ・ 事例研究 ・ チーム支援の進め方 ・ アンケートや調査法の扱い方法及び活用の方法 ・ 児童生徒理解にかかわる情報交換 ★学校楽シートの実施 ※ 各学期ごとに実施する。
4月 ○ 少しずつ小集団を形成するが、友達づくりに乗り遅れる児童生徒が出てくる。 ○ 集団より個人の活躍が目立つ。 ○ 前年度までの好ましくない人間関係が顕在化する。	誰とでも協力できるようにする。		得意なこと、興味関心のあることについて考えることができるようにする。				
5月 ○ 学級で互いをよく知り合うようになる。 ○ いわゆる月病の時期。	簡単な自己開示をしたり、他者を受け入れたりできるようにする。	自分の気持ちや考えを、素直に話すことができるようにする。		自他の役割について考えることができるようにする。	自分のストレスを知り上手な対処法について考えることができるようにする。		
6月 ○ 係活動が機能化し、友達関係も深まる。 ○ 少年団活動や部活動、行事の疲労感から適応を欠く児童生徒が出てきやすい。					学級の活動を通して学級のよさに気付くことができるようにする。		
7月 ○ 長期休業前まで開放的な気持ちになりやすい。			目標をもって課題に取り組むことができるようにする。	個人や学級の成果や努力を認め合うことができるようにする。			
8月 ○ 長期休業中で生活のリズムが乱れやすい。							
9月 ○ 心身の成長が目立つとともに相互に影響を受けやすい。 ○ 少年団や部活動、学級や学習への不適応が表面化する。	集団での活動を通して、他者を理解し信頼できるようにする。	不安や悩みを相談できるようにする。			相互に不安や悩みを共感的に受け止めることができるようにする。		
10月 ○ 創造性、企画性が発揮され集団としてまとまりやすい。 ○ 個人と集団との利害に矛盾が出てきやすい。	自分の思いや考えを自己開示をしたり、他者を認めたりできるようにする。		これまでの成果を振り返り、今後の目標をもつことができるようにする。	集団での活動を通して、相互に努力したことを認め合うことができるようにする。		学級全員での取組を通して、所属意識を高めることができるようにする。	
11月 ○ 学校行事がほぼ終了し、学習への関心が高まる。							
12月 ○ 学級への所属感や連帯感が高まる一方、学習への不適応感が起こりやすい。			職業や進路に関する意識を高めるようにする。				
1月 ○ 新年を迎え、新たな気持ちになる。	自己理解を深め、集団の中で自己表現できるようにする。	自分の成長や感謝の気持ちを伝えることができるようにする。		役割意識を高めることができるようにする。	喜怒哀楽などの自分の感情を受け止めその伝え方について考えることができるようにする。		
2月 ○ 現学級への所属意識や連帯感が高まる。 ○ 進級、進学、就職など新しい環境への期待と不安が顕在化する。	他者への感謝の気持ちや学年に応じた自覚をもつことができるようにする。		1年を振り返り、次年度への目標をもつことができるようにする。	1年を振り返り、嬉しかったことや頑張ったことを認め合うことができるようにする。		学級の1年間の成果や努力してきたことを認め合うことができるようにする。	
3月							

年間指導計画は、学校種の違いや学校の実態によって様々な項目で構成され、形式も異なっている。しかし、計画が確かな実践への拠り所として機能を果たすためには、指導する「時期」と「内容」を記す必要がある。

次の表は、第6学年の年間指導計画である。学級活動は生徒指導のための中核的な時間であることから、項目の中に、「学級での活動」と「学年・全校での活動」を位置付けた。そして、各月の欄には、「学校への適応感を高める年間指導計画」を基に、それぞれの活動内容を示した。

自己指導能力の育成を目指した計画性のある発展的な生徒指導を実現していくためには、年間指導計画の果たす役割に着目して、共通理解を図り作成していくことが求められる。

小学校第6学年年間指導計画(例)

月	月ごとの目標	基本的な生活指導	主な行事	学級での活動	学年・全体での活動	備考
4月	みんなと仲良くしよう	○ 気持ちのよいあいさつや返事 ○ 名前の呼び方	・始業式、入学式 ・家庭訪問 ・1年生を迎える会	○ 学級開き(学活) ゲーム的な要素を含む抵抗感の少ないふれあい活動を行い、新しい人間関係のきっかけをつくらせたり、学級に親しみをもったりできるようにする。 ○ 朝の会・帰りの会 手の甲叩きジャンケンなど、短時間のふれあい活動を不特定多数の児童と繰り返し行い、誰とでも協力して活動できるようにする。 ○ 「見つめよう、自分の心」(学活) ワークシート「心の温度計」を活用し、自分の心身の状態に目を向け、不安や緊張を軽減できるようにする。	○ 始業式、入学式 勇気付けの言葉を通して、節目を大切に、自分のよさに気づき、夢や希望をもてるようにする。 ○ 1年生を迎える会 最上級生として企画及び運営をすることで、1年生に優しく接する自分のよさに気付くことができるようにする。 ○ いじめ問題を考える週間 いじめは絶対にしないことを確認したり、ふれあい活動で自己開示をしたり、他者を認めたりできるようにする。 ○ 縦割り掃除 下級生の世話をしながら、学校をきれいにし、自他の役割について考えることができるようにする。	○ 学級のルール作り(学活) 「自分がされて嫌な言動」、「望ましいと考える言動」など児童の考えを反映させて、教師とともに設定できるようにする。 ○ 交通安全教室 交通規則を守る体験を通して、「自分の命は自分で守る」という意識をもてるようにする。
5月	生活のきまりを守ろう	○ 正しい言葉遣い ○ 集団行動 ○ 身支度の整え方	・スポーツテスト ・修学旅行	○ 教育相談(学活) 自分の気持ちや考えを素直に先生に話すことができるようにする。 ○ 「ストレスとのつきあい方」(学活) 自分のストレスを知り、上手な対処法を考えることができるようにする。	○ 修学旅行 学級やグループの活動を通して、学級のよさに気付くようにする。	※ 学校案シートの実施(1回目) 学期はじめの児童の実態を把握して、学級及び個別への指導・援助に生かす。 緊急な対応が必要な児童へは個別面談など、指導・援助を進める。
6月	時間を大切にしよう	○ 学校生活の流れ(授業の開始と終了、給食ほか) ○ 家庭生活の流れ(学習とTVやゲーム、パソコンの時間)	・水難訓練	○ 楽しい給食 時間を決めて、グループで会話を楽しみ、簡単な自己開示をしたり、他者を受け入れたりできるようにする。		○ 水難訓練 ルールを守って避難する体験を通して、「自分の命を集団で協力して守る」という意識をもてるようにする。
7月	安全な生活をしよう	○ 正しい歩行(廊下、道路) ○ 校外での遊び	・終業式 ・七夕集会 ・水泳記録会	○ 「もうすぐ夏休み」(学活) 個人や学級の成果や努力を認め合ったり、目標をもって課題に取り組んだりする。	○ 七夕集会(児童会) 「願い事」の発表やふれあい活動などで簡単な自己開示をしたり、他者を認めたりできるようにする。	
8月	規則正しい生活をしよう	○ 夏休みの生活のきまり(家庭生活の時間)	・ラジオ体操			
9月	きれいな学校にしよう	○ 身の回りの整理整頓(トイレのスリッパ) ○ ちりの始末 ○ 掃除の仕方	・始業式 ・火災訓練 ・いじめ問題を考える週間	○ 朝の会・帰りの会 嬉しかった1分間話など2人組で聴き合い、共感的態度を高めるようにする。 ○ 教育相談(学活) 不安や悩みを先生に相談したり、児童が相互に共感的に受け止めたりできるようにする。	○ いじめ問題を考える週間 いじめにかかる自分の思いや考えの発表やふれあい活動で自己開示をしたり、他者を認めたりできるようにする。 ○ 運動会(練習) 運動会の企画・運営や練習を通して、他者を理解し信頼できるようにする。	○ 学級のルール作り(学活) 児童の考えを反映させて1学期のルールを加除修正できるようにする。 ○ 火災訓練 ルールを守って避難する体験を通して、「自分の命を集団で協力して守る」という意識をもてるようにする。
10月	ものを大切にしよう	○ 持ち物の記名 ○ はきものの揃え方 ○ 図書館の本の扱い方	・秋季大運動会 ・一日遠足	○ 「学びの秋」(学活) これまでの勉強の仕方を振り返り、今後の目標をもつことができるようにする。	○ 一日遠足 学級ごとに一緒に楽しく昼食をとることで、所属意識を高めるようにする。	※ 学校案シートの実施(2回目) 児童の変容を把握し、学級及び個別への指導・援助に生かす。 結果の分析及び情報共有により、望ましい取組を学校全体に広げる。
11月	仕事に責任をもとう	○ 当番、係の仕事 ○ 掃除の仕方	・市小学校陸上記録会 ・児童総会		○ 児童総会 学校をよくするための話し合いやふれあい活動を通して、自分の思いや考えを自己開示をしたり、他者を認めたりできるようにする。	
12月	すすんで体をきたえよう	○ 冬休みの生活のきまり	・人権教育週間 ・終業式	○ 「私の未来予想図」(学活) 就きたい職業や行ってみたい仕事の情報をインターネットで集め、進路に関する意識を高めるようにする。	○ ひまわり集会(児童会) 人権に関する発表やふれあい活動で、自分の思いや考えを自己開示をしたり、他者を認めたりできるようにする。	
1月	礼儀正しくしよう	○ 明るいあいさつと返事・言葉遣い ○ 場に合った服装 ○ 食事のマナー ○ お金(お年玉)の使い方	・始業式	○ 朝の会・帰りの会 サイコロトキキングなどで自己理解を深め、グループや学級の中で自己表現できるようにする。 ○ 「私の気持ち・あなたの気持ち」(学活) 喜怒哀楽などの自分の感情を受け止め、ソーシャルスキルトレーニングなどを通してその伝え方について考えるようにする。	○ 児童会・委員会活動 卒業に向け、5年生への引継ぎをしながら、役割意識を高めることができるようにする。	○ 学級のルール作り(学活) 児童の考えを反映させて2学期のルールを加除修正できるようにする。 ※ 学校案シートの実施(3回目) 年間を通じた児童の変容を把握し、今後の指導・援助に生かす。 次年度の生徒指導計画立案に生かす資料とする。
2月	寒さに負けずがんばろう	○ インフルエンザの予防 ○ ポケットから手を出す	・持久走大会 ・新1年生体験入学	○ 「卒業に向けて」(学活) 6年間を振り返り、自分の成長や感謝の気持ちを文集や言葉などで伝えることができるようにする。	○ 持久走大会 個人の努力や学級の成果を認め合うようにする。	○ 地震避難訓練 ルールを守って避難する体験を通して、「自分の命を集団で協力して守る」という意識をもてるようにする。
3月	1年間を振り返ろう	○ 春休みのきまり ○ みんなで使ったものの整理整頓 ○ 係・当番、学習、遊びなどの反省	・お別れ遠足 ・卒業式、修了式	○ 「卒業」(学活) 6年生としての1年間や小学校生活で努力してきたことや成長できたことなどを発表して認め合うようにする。	○ 卒業式 小学校生活を振り返り、嬉しかったことや頑張ったことを認め合うとともに、中学校生活への目標をもつことができるようにする。	